資料１－１１

【情 報 提 供】

国 土 地 理 院

大規模災害時における地理空間情報の提供

国土地理院

○ 令和５年６月２９日からの大雨では、空中写真（斜め写真）の撮影や、国土交通省災害対策用ヘリコプターが撮影した画像及び標高データを用いて、浸水範囲における水深を算出して深さを濃淡で表現した「浸水推定図」を作成し、関係機関に提供するとともにホームページ上に公開しました。

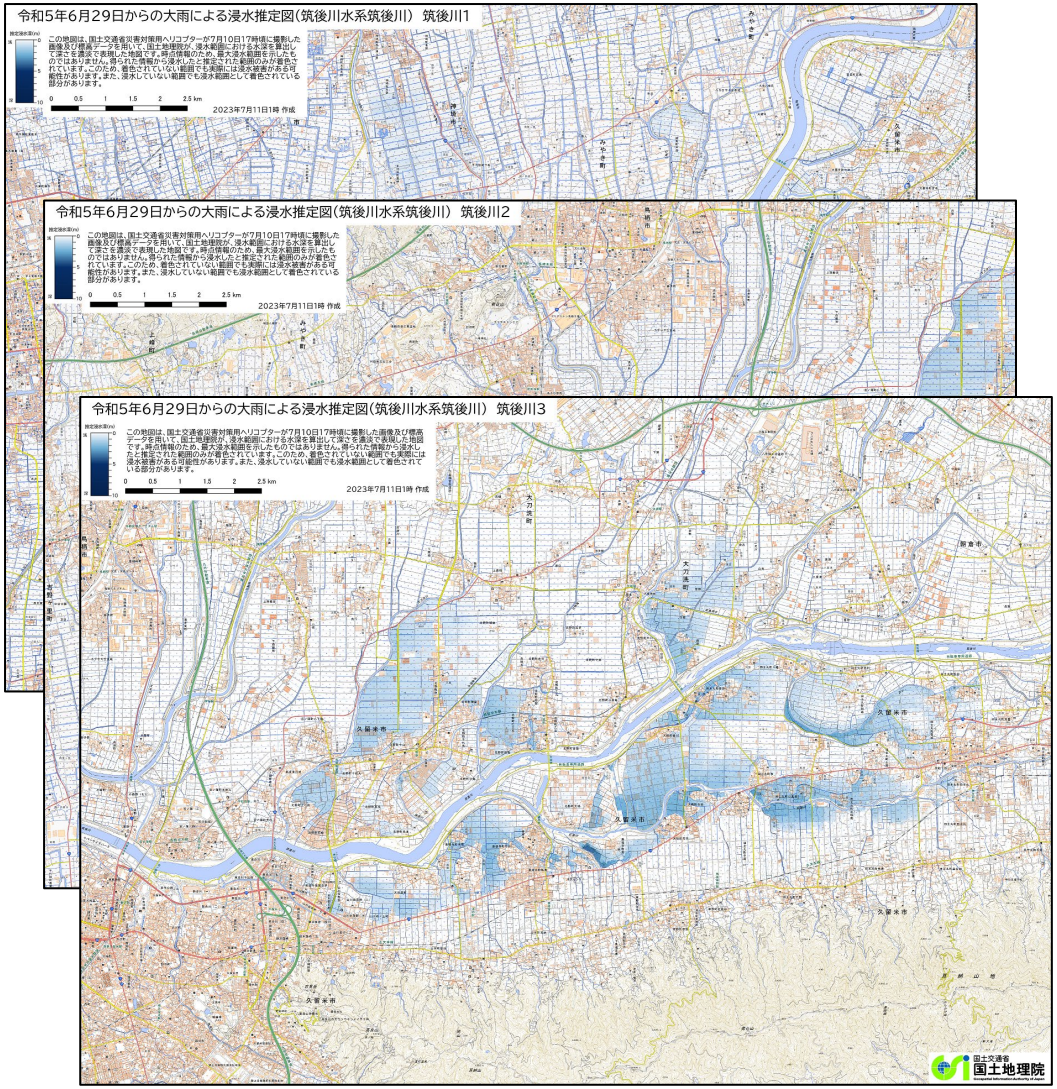
緊急撮影　久留米地区（斜め写真）

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

久留米市田主丸町竹野付近で発生した土石流の様子

※斜め写真を繋ぎ合わせて作成

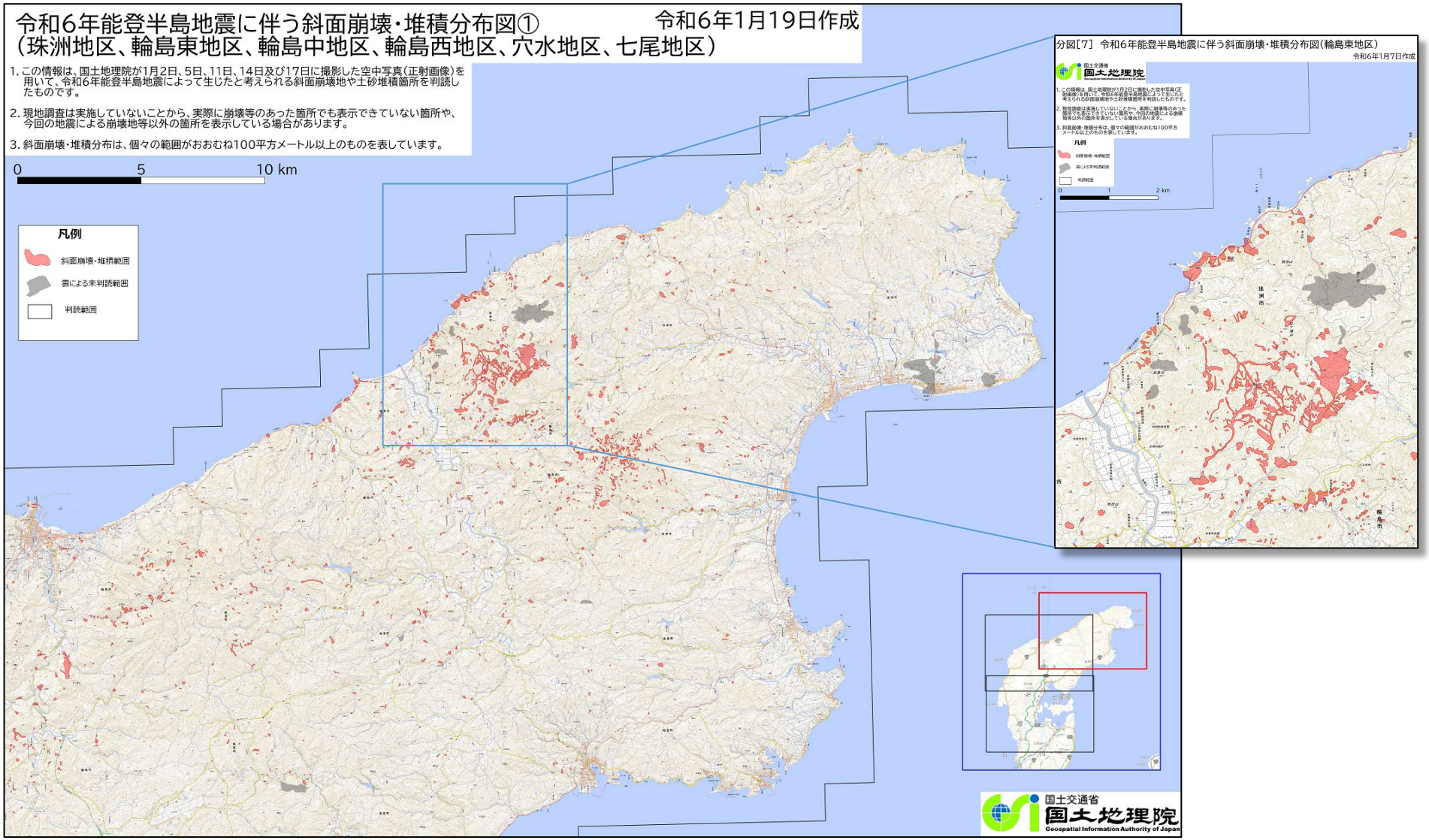
2023年7月11日撮影



大規模災害時における地理空間情報の提供

国土地理院

○ 令和６年能登半島地震では、国土地理院が撮影した空中写真（正射画像）から、地震によって生じたと考えられる斜面崩壊地及び土砂堆積箇所の範囲を判読した「斜面崩壊・堆積分布図」を作成し、関係機関に提供するとともにホームページ上に公開しました。



自然災害伝承碑の取組

国土地理院

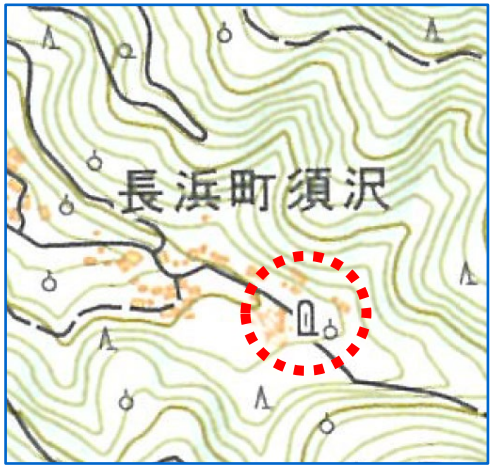
○ 過去に起きた津波や洪水などの自然災害の情報を伝える石碑やモニュメントを「自然災害伝承碑」として地理院地図などへ掲載することにより、自然災害の教訓を地域のみなさまに適切にお伝えし、先人の教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

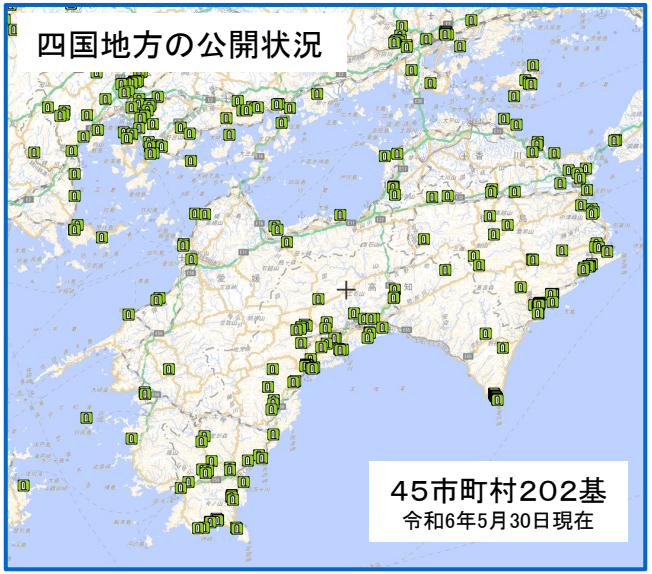
防災基本計画（令和5年5月一部修正）

第2編第1章第3節国民の防災活動の促進

4 災害教訓の伝承
国及び地方公共団体は、過去に起こった大規模災害の教訓や災害文化を確実に後世に伝えていくため、（略）広く一般の人々が閲覧できるよう地図情報その他の方法により公開に努めるものとする。また、災害に関する石碑やモニュメント等の持つ意味を正しく後世に伝えていくよう務めるものとする。

新刊行の紙地図に掲載





地理院地図
↓
「災害伝承・避難場所」
↓
「自然災害伝承碑」
↓
「災害区分」
↓
地図記号をクリック
伝承碑画像をクリック
↓
碑名、災害名、伝承内容などが表示されます

「重ねるハザードマップ」のデータ更新

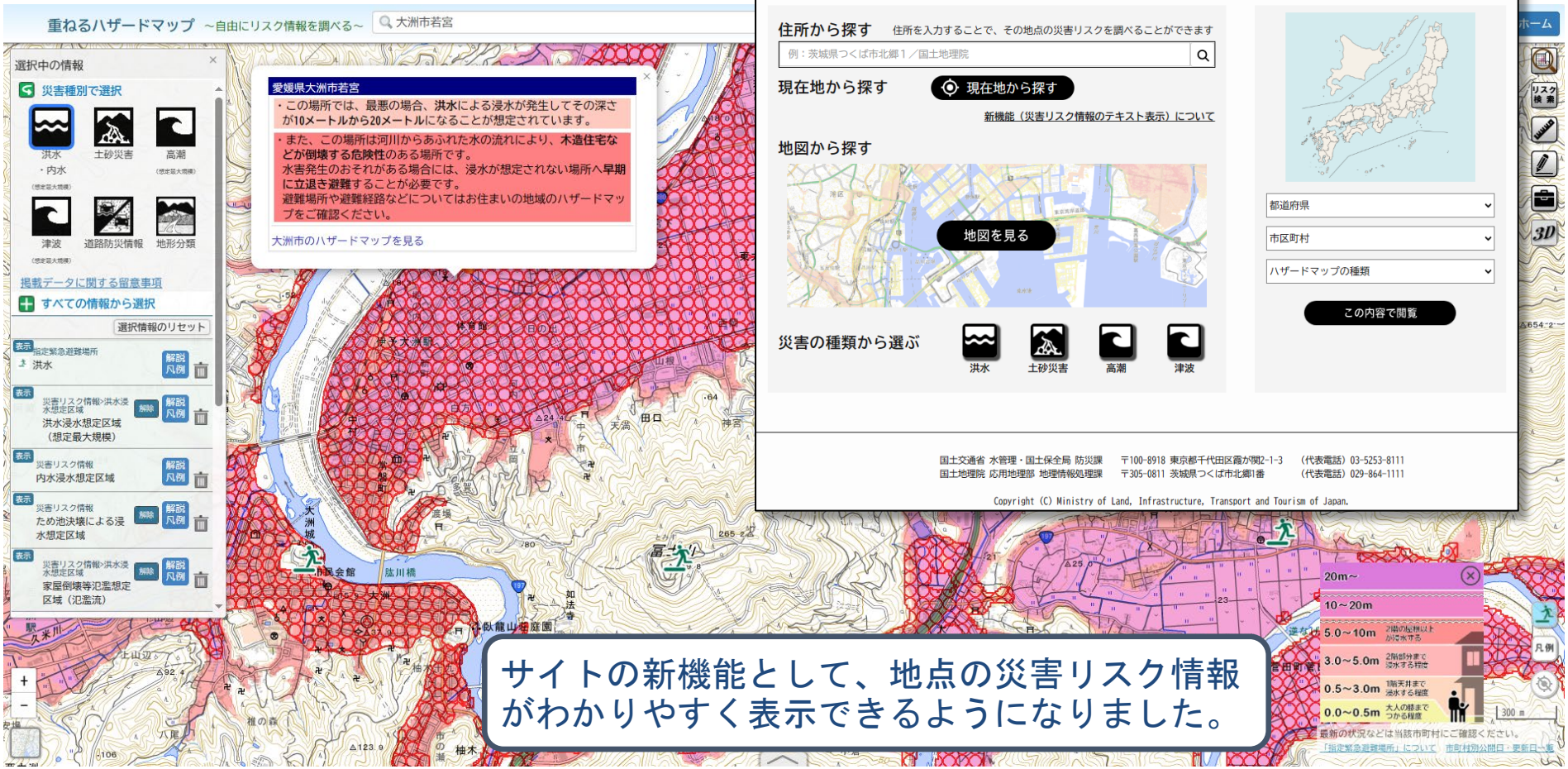
国土地理院

○ 国土交通省が運営するハザードマップポータルサイトの「重ねるハザードマップ」において、指定緊急避難場所などのデータを更新しました。

指定緊急避難場所データを更新

市町村名	初回公開日	最終更新日
大洲市	2017/2/22	2023/2/24
伊予市	2017/2/22	2023/1/1
西予市	2017/2/22	2023/1/1
砥部町	2017/2/22	2023/3/9
内子町	2017/2/22	2023/1/1

https://disaportal.gsi.go.jp/



サイトの新機能として、地点の災害リスク情報がわかりやすく表示できるようになりました。